

令和3年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業)
実証研究に基づく訪問看護・介護に関連する事故および感染症予防のガイドライン
策定のための研究

訪問介護事業所における事故・ヒヤリハット予防対策の実施状況—全国調査より—

研究協力者 森岡典子 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
研究代表者 柏木聖代 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科

研究要旨

全国調査のデータを用い、訪問介護事業所における事故予防対策の全国の実施状況を初めて明らかにした。事故・ヒヤリハットの発生状況を収集する仕組み、マニュアル作成とその運用、職員研修体制は多くの事業所で実施されていることが分かった。一方で、利用者のリスク評価、事故事例分析、委員会の設置によるPDCAサイクルの強化が課題であることが示唆された。

A. 研究目的

訪問介護は、人々が最期まで住み慣れた地域で暮らし続けることを目指す地域包括ケアの実現にはなくてはならない介護保険サービスである。一方で、対象者の多様性、一人での訪問・対応、移動中のリスクなど在宅ケアには特徴的なリスクがあることが指摘されている。¹ 実際の事故事例としては、転倒、ふらつき、誤飲、誤嚥、誤薬、体調急変という身体介護全般に関連する事故・ヒヤリハットのほか、家事援助に関連する内容など様々な事故・ヒヤリハットの発生が報告されており²⁻⁵、訪問介護における事故発生が身近なものであることが指摘されている。安全な訪問介護を提供するためには、リスクの把握と分析に基づいた適切な事故予防対策の実施が求められている。

しかし、訪問介護事業所における事故予防対策の実施状況についての実態は明らかになっていない。本研究では、訪問介護事業所における事故予防対策の全国の実態を明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

1. 研究デザイン

都道府県層化無作為抽出により選定した全国の訪問介護事業所を対象とした Web 調査データの二次解析を実施した。当該調査は、2021年1月時点で介護サービス情報公表システムに掲載されていた全国の訪問介護事業所(33,575事業所)より、都道府県別に層化無作為抽出した2,000事業所の管理者を対象とした無記名の Web 調査である(2021年1月～2月)。宛先不明等で未達となった事業所を除外した最終的な調査対象(有効配布数)数は、1953事業所で、240事業所より回答を得た。調査項目は、事故予防対策(感染予防対策含む)の実施状況、事故・ヒヤリハット発生状況、事業所の基本属性、管理者の属性であった。

2. 解析方法

本研究では、事故予防対策の実施状況に関する項目に欠損のない165事業所を解析対象とした。事業所特性、事故予防対策の実

施状況、事故・ヒヤリハットの発生について、実施割合等の基本統計量を算出した。事故予防対策実施有無別でみた事故・ヒヤリハット発生割合を、カイ二乗検定もしくはフィッシャーの正確検定で比較した。統計的有意水準は両側 5%とした。解析にあたっては Stata version 16 (StataCorp. College Station, TX, USA)を用いた。

3.倫理的配慮

本調査は、東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会の承認を得て実施した(M2020-282)。

C. 研究結果

解析対象となった 165 事業所は、約半数が営利法人であり、55.8%が同一法人内に他の訪問介護サービス事業所を、75.2%が他の介護保険サービス事業所・施設を併設していた。常勤換算訪問介護員数の中央値(25%-75%タイル値)は 5 (3-8)であった(表 1)。事故・ヒヤリハットの発生は、過去 3 か月に発生ありと回答したのは、26 事業所(15.8%)であった(図 1)。

事故予防対策の実施状況は、事故予防マニュアルの作成 100%、事故やニアミスの発生を収集する仕組み 97%、事故予防マニュアルの活用 88.5%、マニュアルの見直し 87.9%、事故予防に関する研修 84.2%、事故やヒヤリハットの事例分析 74.6%、他の訪問介護事業所の情報収集と活用 52.1%、利用者のリスク評価 48.5%、事故防止のための委員会の設置 23.6%であった(図 2)。事故・ヒヤリハットの有無でみると、発生有群において、事故防止のための委員会設置($p<0.01$)、事故やヒヤリハットの事例の分析($p<0.1$)、事故予防に関する研修 ($p<0.1$)を実施している割合が高かった(表 2)。

D. 考察

本研究は、Web 調査のデータを用い、訪問介護事業所における事故予防対策の全国の実施状況を初めて明らかにした研究である。

事故予防対策の柱とされている事故・ヒヤリハットの発生状況を収集する仕組み、マニュアル作成とその運用、職員研修体制は多くの事業所で実施されていることが分かった。一方で、利用者のリスク評価、事故事例分析、委員会の設置は実施率が高いとはいえない状況であった。これらは、リスクマネジメントのPDCAサイクルを回す上での重要なストラクチャーおよびプロセスである¹。本研究の結果でも、事故・ヒヤリハットの発生があると回答(つまり、事故やヒヤリハットを正確に把握できていると考えられる)している事業所ほど、これらの対策実施割合が高い傾向にあった。適切なリスク評価に基づく予防策の実施ならびに事故の分析を委員会など多数の目で検討していくことは、今後、推進されるべき点であることが示唆された。

また、訪問介護事業所は医療機関や介護施設と異なり、小規模であり、人的資源の不足が指摘されている。訪問介護事業所同士が事故発生やその対策といった情報を横のつながりにより共有することで、人的資源の不足という点を補いつつ、事故予防対策を強化していく仕組みづくりも求められる。

E. 結論

全国の訪問介護事業所における事故予防対策実施状況として、事故・ヒヤリハットの発生状況を収集する仕組み、マニュアル作成とその運用、職員研修体制は多くの事業所で実施されていることが分かった。一方

で、利用者のリスク評価、事件事例分析、委員会の設置によるPDCAサイクルの強化が課題であることが示唆された。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

引用文献

1. 宮崎和加子. *在宅ケアリスクマネジメントマニュアル 第2版*日本看護協会出版会, 2016.
2. 篠崎 良勝. 介護従事者が起こした医療事故の実態と今後の検討課題, *総合ケア* 2005;15:62-68.
3. 横山 順一. 訪問介護における事故とそれに関連する訪問介護員の要因, *日在宅ケア会誌* 2006;10:21-28.
4. 鳩間 亜紀子. 訪問介護におけるエラーの実態と発生の背景, *高知県大紀 社会福祉* 2013;62:43-52.
5. 介護労働安定センター. 平成 29 年度老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業「介護サービスの利用に係る事故の防止に関する調査研究事業」報告書, 平成 30 年 3 月;.

表1 事業所属性(n=165)

	N	中央値	25% タイル 値	75% タイル 値
事業継続年	159	13.8	6.1	19
訪問介護員数(常勤換算)	118	5	3	8
	N	%		
開設法人種別				
営利法人	85	51.5		
社会福祉法人	44	26.7		
その他	36	21.8		
同一法人内の訪問介護事業所の併設	92	55.8		
同一法人内の他の介護サービス事業所・施設の併設	124	75.2		
24時間訪問介護の提供体制	120	72.7		
休日の提供体制	23	13.9		
夜間の提供体制	94	57.0		
通院等乗降介助	36	21.8		
利用者の意見等を把握する取組	91	55.2		
第三者による評価の実施	40	24.2		
損害賠償保険の加入	158	95.8		
管理者の介護資格	145	87.9		
管理者の看護職資格	6	3.6		

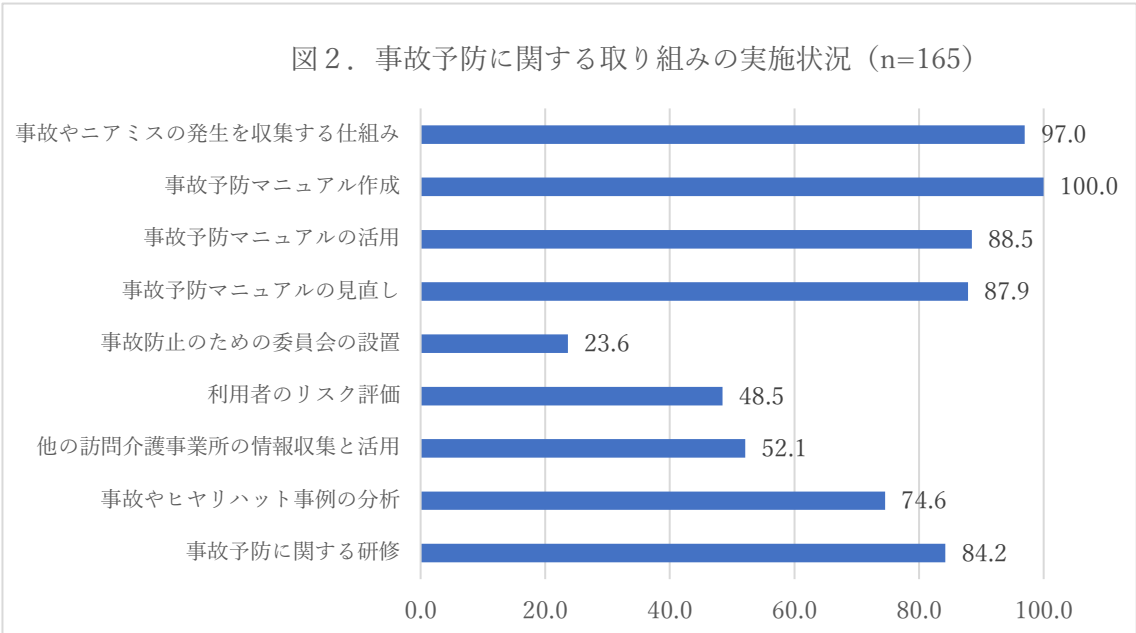
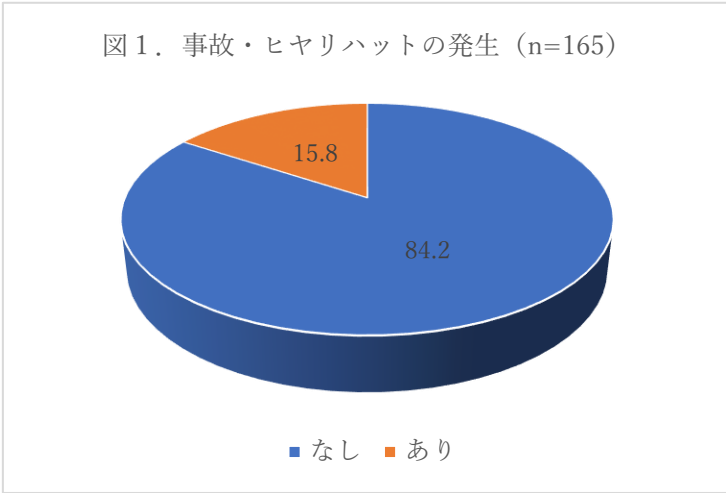


表2 事故・ヒヤリハット有無別にみた事故予防対策実施状況

		計		事故・ヒヤリハット				P 値*
				なし		あり		
		N	%	N	%	N	%	
事故やニアミスの発生を収集する仕組み	なし	5	3.0	5	3.6	0	0.0	0.326
	あり	160	97.0	134	96.4	26	100.0	
事故予防マニュアルの活用	なし	19	11.5	16	11.5	3	11.5	0.997
	あり	146	88.5	123	88.5	23	88.5	
事故予防マニュアルの見直し	なし	20	12.1	19	13.7	1	3.9	0.159
	あり	145	87.9	120	86.3	25	96.2	
事故防止のための委員会の設置	なし	126	76.4	112	80.6	14	53.9	<0.01
	あり	39	23.6	27	19.4	12	46.2	
利用者のリスク評価	なし	85	51.5	70	50.4	15	57.7	0.492
	あり	80	48.5	69	49.6	11	42.3	
他の訪問介護事業所の情報収集と活用	なし	79	47.9	67	48.2	12	46.2	0.848
	あり	86	52.1	72	51.8	14	53.9	
事故やヒヤリハット事例の分析	なし	42	25.5	39	28.1	3	11.5	<0.1
	あり	123	74.6	100	71.9	23	88.5	
事故予防に関する研修	なし	26	15.8	25	18.0	1	3.9	<0.1
	あり	139	84.2	114	82.0	25	96.2	

* カイ二乗検定もしくはフィッシャーの正確検定